



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

2021年6月30日

国立大学法人 山梨大学

令和3年度連携事業計画：

フェーズフリーな土木インフラに関する研究（新規）

【事業の概要】

土木インフラは、日常時はもちろんのこと、非常時にも有効に機能することが求められる。しかしながら、耐震設計等の設計外力としての検討はなされているものの、機能面において地域の安全安心にどのように機能を発揮し、貢献できるのかについては十分に考慮されていなかった。具体的な例としては、東日本大震災において、盛土された高速道路が、地域の避難場所として機能しなかったことが挙げられる。

そこで本研究では、日常時と非常時の垣根をなくすフェーズフリーの概念を土木インフラに適用し、今後求められるフェーズフリーな土木インフラのあり方を探求するとともに、具体的な施設での検討を通してフェーズフリーな土木インフラのノウハウや方法論を明らかにすることを目的としている。

【役割分担】

- (1) 山梨大学：研究会事務局、事例紹介、フェーズフリーな土木インフラの検討
- (2) 山梨県土木整備部：研究会参加、フェーズフリーな土木インフラの検討



写真 今治市バリクリーン



写真 南池袋公園

（出所：フェーズフリー事例集 HP）